

「当院搬送された自殺企図患者さんの調査」 について

加古川中央市民病院精神神経科では、現在、当院へ救急搬送され、自殺企図を認めた患者さんを対象に下記の研究を実施しております。その詳細内容は下記の通りになっております。

尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究概要及び利用目的】

加古川中央市民病院に救急搬送された自殺企図患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを COVID - 19 前・COVID - 19 中・COVID - 19 後期に分け調査します。調査により今後、救急搬送される自殺企図患者さんに対して当科が行う治療の効果および安全性を検討し、より良い治療法を確立することを目的としています。

【研究期間】

研究期間：病院長承認日～ 2024 年12月31日

【取り扱うデータ情報の項目】

2018年4月1日から2024年3月31日の間、COVID - 19前期（2018年4月～2020年3月）、COVID - 19中期（2020年4月～2023年3月）、COVID - 19後期（2023年4月～2024年3月）に加古川中央市民病院に救急搬送され、自殺企図を認めた患者さんの診療録より下記の情報を取得いたします。

〈研究に利用する情報の項目〉

- 年齢、性別、過去の既往症、合併症、転帰
- 自傷手段、重症度
- 処方薬剤（投与量、投与期間など）
- 臨床検査値
- CT 等の画像 等

【個人情報保護の方法】

研究データは、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し匿名化しますので、研究関係者以外が当院の患者さんを特定することはできません。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり匿名化していますので、患者さんのプライバシーは守られます。なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て実施しています。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：本研究にデータをご提供いただく事で生じる個人の利益は、特にありません。

不利益：診療録からのデータのみ利用するため特にありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱いについて】

研究終了後も少なくとも本研究の終了報告日から5年を経過した日または本研究の結

果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、
脾睦保持下で保管します。

患者さん及びその家族等から参加拒否または同意撤回があった場合には、その患者さん
に関するデータはすみやかに廃棄します。

【研究成果の公表について】

研究成果は学術目的のための論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人
を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめについて】

いつでも可能です。患者さんのデータを用いられたくない場合には、下記【問い合わせ
窓口】までご連絡ください。取りやめの希望を受けた場合、それ以降患者さんのデータ
を本研究に用いることはありません。しかし、同意を取り消した時点ですでに研究成果
が論文などで公表されている場合は廃棄できません。

【情報の提供を行う機関の名称及び管理責任者の氏名】

加古川中央市民病院 院長 大西 祥男

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、患者さんのデータが本研究に用いられているかどう
かお知りになりたい場合や、患者さんのデータの使用を望まれない場合など、この研究
に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 精神神経科

研究責任者名 大谷 恭平

連絡先：079-451-5500